

学年	教科	科目	教科書名	副教材
高2 (総合進学)	公民科	政治・経済	『改訂版 政治・経済』 (数研出版)	『政治・経済資料 2022』 (東京法令出版)

1. 授業のねらい

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせる。現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させる。公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2. 授業の進め方

電子黒板・プリントなどを活用して授業を進める。なお、ICT 機器は担当教員の指示があるとき以外は、机の中にしまっておくこと。

3. 学習上の留意点

中学社会科・公民的分野がベースとなる科目である。特に前半で学習する政治分野は、中学における内容と重複する箇所が多い。高校1年次同様、用語を覚える際には、用語を覚えようとするよりもむしろ用語の意味やその内容を理解することが大切である。意味も分からずに用語を覚えても、試験での点数にはつながらない。また、用語ごとに覚えても意味はない。それが授業のどの文脈で使われていたかを意識して覚えるようにしたり、用語と用語を関連させて覚えるようにする。こうすることで記憶に残りやすくなり、思い出しやすくなる。週2時間の授業であるが、基礎学力到達度テストを倫理、政治・経済で受験する生徒が本校は多いため、高校3年次へのいわゆる積み残しがなるべく少なくなるよう授業を進める予定である。自ら学ぶ姿勢、意欲的に取り組む姿勢、アクティブラーニングの姿勢が何よりも重要であることは高校1年次と変わらない。

4. 教科書・副教材

- (1) 教科書『改訂版 政治・経済』(数研出版)
- (2) 副教材『政治・経済資料 2022』(東京法令出版)

5. 評価方法

- (1) 定期試験…定期考査5回(100点×5回) 計500点
- (2) 平常点…1学期20点+2学期20点+3学期10点 計50点
- (3) ノート(プリント)提出・課題提出などについてはその都度発表する

6. 定期考査

授業で扱った事項、試験前に指定した範囲からの出題の他、応用・発展・時事問題を出題することもある。

7. 指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則 第1節 民主政治の基本原則とその展開 1. 政治と法	課題など	政治に対する関心を高める。民主政治の本質や制度を理解する。議院内閣制と大統領制の概要を理解する。旧憲法と新憲法の相違について考察し、日本国憲法の三原則について理解する。基本的人権の内容を理解する。平和主義を理解し、国際協力について問題点を考える。戦後国際政治のあゆみについて理解する。
	5	2. 民主政治のあゆみ 3. 民主政治の基本原則とその展開 4. 政治体制の比較	中間考査	
	6	第2節 日本国憲法と基本的人権 1. 日本国憲法の基本的性格 2. 基本的人権の保障 3. 日本国憲法の平和主義	課題など	
	7	第2章 現代の国際政治 第1節 国際政治の動向 4. 戦後国際政治の展開	期末考査	
	8	夏期休業		
二 学 期	9	第2節 国際社会の課題と日本の役割 1. 核兵器の廃絶と軍縮問題 2. 地域紛争と人種・民族問題 3. 日本の国際的地位と役割	課題など	国際紛争の諸要因、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解する。経済活動と生活・経済活動の意義、資本主義経済、家計・企業・政府の働きについて理解する。市場とは何をするとどこか理解する。物価とは何か、どのような種類があるのか理解する。国の豊かさは何によってはかれるか理解する。
	10	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 第1節 経済活動の意義と経済体制 1. 人間と経済活動 2. 資本主義経済の発展と変容	中間考査	
	11	3. 経済活動の主体 第2節 現代経済のしくみ 1. 市場経済のしくみ 2. 物価の動向 3. 国民所得と経済成長	課題など	
	12	冬期休業	期末考査	
三 学 期	1	4. 財政のしくみと租税 5. 金融のしくみと働き	課題など	財政、金融のしくみを理解する。戦後から現代への日本経済の発展を理解する。中小企業の特質、農業と食料の関係性について理解する。
	2	第3節 日本経済と福祉の向上 1. 戦後日本経済のあゆみ 2. 中小企業と農業・食料		
	3	春期休業		

※国会～国際連合は、高校1年次の現代社会で学習した内容と重複するため扱わない。また、理解度やその他の都合などにより省略や前後することもありうる。